

佐倉市議会

第2回 議会報告会・意見交換会

報告書

平成24年11月18日

佐倉市立中央公民館

I. 開催概要

1. 開催日時；平成 24 年 11 月 18 日（日） 午後 1 時 30 分 ～ 午後 4 時 25 分

2. 開催会場；佐倉市立中央公民館（大ホール他）

3. 開催内容（会議次第）

会 議 次 第		
1.	開 会	
2.	議長あいさつ	山口 文明 議長
3.	委員長趣旨説明	桐生 政広 広報公聴委員長
4.	議会報告会	
	(1)各委員会報告	
	① 決算審査特別委員会	川名部 実 委員長
	② 総務常任委員会	清宮 誠 委員長
	③ 文教福祉常任委員会	中村 孝治 委員長
	④ 経済環境常任委員会	押尾 豊幸 委員長
	⑤ 建設常任委員会	桐生 政広 委員長
	⑥ 議会運営委員会	望月 清義 委員長
	⑦ 議会改革推進委員会	清宮 誠 委員長
	(2)質疑	
	《 休 憩 》	
5.	意見交換会〔分科会〕	
	(1) 第1分科会 『少子高齢社会へ対応するために』	
	(2) 第2分科会 『これからの産業振興のあり方』	
	(3) 第3分科会 『いま求められている防災対策』	
6.	閉 会	

4. 参加者；52名（市内48名，市外4名）

5. 出席議員；28名（すべての議員）

番号	議員氏名	番号	議員氏名	番号	議員氏名	番号	議員氏名
1	和田 恵子	2	高木 大輔	3	大野 博美	4	爲田 浩
5	岩井 功	6	橋岡 協美	7	久野 妙子	8	井原 慶一
9	石渡 康郎	10	松原 章	11	上ノ山 博夫	12	萩原 陽子
13	伊藤 壽子	14	五十嵐 智美	15	村田 穰史	16	小須田 稔
17	柏木 恵子	18	岡村 芳樹	19	冨塚 忠雄	20	川名部 実
21	櫻井 道明	22	山口 文明	23	森野 正	24	清宮 誠
25	押尾 豊幸	26	中村 孝治	27	桐生 政広	28	望月 清義

※番号は議席番号です。

Ⅱ. 参加者及び議員の主な意見等

1. 議会報告会

《意見・質問》

市民意見（質問）	議員意見（答弁）
<input type="checkbox"/> 議会基本条例において市民参画に努める旨が宣言されているが、施行後1年半が経過し、どのようなことが実施されたのか。今後の見通しを含め伺う。	<input checked="" type="checkbox"/> 議会基本条例に掲げた事項について進んでいないが、インターネット中継の導入については、議会改革推進委員会で協議が整い、実施予定である。
<input type="checkbox"/> 6月定例会における陳情の審査内容は、議会基本条例に掲げる市民参画の理念とは大変な違和感を感じた。本当に市民参画を求めているのか。	<input checked="" type="checkbox"/> 大いに求めている。

《要望等》

<input type="checkbox"/> 子どもは『将来の宝』であり、教育問題にもっと重点を置くべきである。
<input type="checkbox"/> 道路が狭い。
<input type="checkbox"/> 経済を活性化しなければならない。
<input type="checkbox"/> 議会運営が旧態依然。活発な意見交換をどんどんやるべきだ。

2. 意見交換会

(1) 第1分科会『少子高齢社会へ対応するために』

[参加者 20 名、議員 8 名]

《意見・質問》

市民意見（質問）	議員意見（答弁）
<p><input type="checkbox"/> 若い世代に選ばれる佐倉市が大事。そのためにも一人ひとりの議員が取り組んでいるのはわかるが、議会総体として委員会をつくるなどし、何よりも優先し子育て支援策に取り組んでほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 住みたくなるまち佐倉に。結婚して子どもを産み増やせる環境が必要。そのためにも貧困対策、短期間でも若い人への公共の仕事のワークシェアができないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 保育ママを増やすとともに無認可保育園の認可基準を緩め入所しやすいようにしてほしい。</p>	<p>■ 議会でも多くの議員が一般質問等に取り組んでいる。これからも努力していく。</p> <p>■ 若者が安心して子どもを産み育てられるよう各施策の充実に努力している。</p> <p>■ 少子化への意見が多かったが、同感である。今後とも執行部に強く求めていく。</p> <p>■ 貴重なご意見をいただいた。市政に反映させていきたい。</p>
<p><input type="checkbox"/> 異年齢の子どもの野外活動支援のため、小学校区ごとに高齢者が遊びを指導する仕組みづくりができないか。</p>	<p>■ 部分的には実施されているが、まだまだごくわずかである。市内全域に広く実施していくには皆さんの協力をお願いしたい。</p>
<p><input type="checkbox"/> 特養で傾聴ボランティアをしていたが、老人が我慢を強いられず、笑って過ごせるホームをつくってほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 行政に言うばかりでなく、高齢者世代と若い世代が互いに譲り合い助け合ったらよい。</p>	<p>■ 高齢化対策に議員も様々な角度から取り組んでいる。20年後に団塊の世代がピークになり、老人ホームは成り立たない。新しい考え方、方法を考える必要がある。</p> <p>■ 昔は世代間の助け合いが普通だったが、核家族化が進んでいる。地域で支えあう仕組みづくりが必要である。</p>

《要望等》

<input type="checkbox"/> 子育てしやすい佐倉市となるよう、頑張ってもらいたい。
<input type="checkbox"/> 女性を大切に。女性パワーを活用し、佐倉で子育てしてよかったと言われる施策を。
<input type="checkbox"/> 高齢化対策に重点を置くことも大事だが、それ以上に少子化戦略室を設けるなどして、子育て支援策、少子化対策に重点的に取り組んでほしい。
<input type="checkbox"/> 私立幼稚園就園奨励費を所得制限なしに補助制度を創設していただきたい。
<input type="checkbox"/> 送迎ボランティアをやっているが、元気な高齢者を活用する仕組みづくりを望む。
<input type="checkbox"/> 原発事故後、佐倉の水を求めて若い人が他市から来る。佐倉市の水道水は地下水が多いため、安全でおいしいことをPRすれば、子育てする若い人が佐倉市に定住するのでは。

《意見・質問》

市民意見（質問）	議員意見（答弁）
<input type="checkbox"/> 産業振興に関わる人数や予算について。	■ 商工費約 3.5 億円、農林水産費約 3.6 億円、合計約 7.1 億円。 ■ 産業振興部理事と産業振興課で 13 名。
<input type="checkbox"/> イベントの目的が見えず、産業振興に戦略性がない。将来のビジョンがあるのか。	■ 今の産業振興予算は 1 % に満たない。大半は補助金と人件費が主であり、市が能動的に経済施策を展開するのは厳しい。今回の決算委員会の審査もふまえて、議会として、現実味のある雇用対策、経済活性化施策を早急に考えなければいけないと提言している。
<input type="checkbox"/> 商店会活性化対策として市の経済対策はどのような制度があるのか。	■ 市は街中にぎわい事業などの助成などしている。
<input type="checkbox"/> 企業誘致事業での費用対効果は。 <input type="checkbox"/> 全国各地で誘致した企業が撤退した事例も多い。佐倉市の企業誘致に関するリスク管理は。	■ 助成金は約 1.4 億円、3 年間で 4.6 億円。歳入は 11 億 1 千万円。 ■ 固定資産税を納付した額に対して、翌年度企業誘致助成金として交付。企業誘致指定企業の指定を取り消した場合は、「既に交付した助成金の全額、又は一部を返還させることができる」と規定。
<input type="checkbox"/> 市の活性化策について結果が見えない。議会の取り組みは。	■ 経済活性化はまちづくりと深く関連する上に福祉施策とも密接な関係がある。スーパー撤退による買い物難民の問題もあり、各部署が集約してまちづくりを行うべきと議会で取り組んでいる。 ■ 住宅地として発展してきた佐倉市だが、南部地域の旧農村地帯の過疎化とともに、新興住宅地は急速に高齢化している問題もおきている。商店街活性化だけでなく、まちづくり全体を考えなければならないのではないか。
<input type="checkbox"/> 街中にぎわい推進事業の 24 年度予算は。 <input type="checkbox"/> 商店会の空き家対策についての議会の取り組みは。	■ 来年度もほぼ同額が検討されている。 ■ 行政視察などで調査研究し、議会の一般質問などで取り組んでいる。
<input type="checkbox"/> 景気減速時代の産業とは福祉分野だと考える。耕作放棄地を福祉産業へ活用し	■ 企業だけではなく、福祉関連も必要。大学誘致の話も出ている。まだまだ、内容

てはどうか。 <input type="checkbox"/> 行政がすべて直営するのではなく、将来的には民間の力も借りてはどうか。	を精査していく必要がある。
<input type="checkbox"/> 議員との対話の機会をもっと設けてほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 今後検討していく。

《要望等》

<input type="checkbox"/> 産業振興ビジョンに核となるものが見えない。歴史の施設も点はあるが核がない。過去の佐倉の歴史にこだわらず先のことを考え、未来志向の検討を要望する。
<input type="checkbox"/> 農業のやり方を見直す。農業法人の誘致が必要。I T関係を利用する。農業分野の研究機関をつくる。様々な方法でおいしいお米をつくる研究をしたらどうか。
<input type="checkbox"/> まちの活性化は、市外からたくさん人が来てお金が落ちることが重要。歴博に来ても武家屋敷で終わり、堀田邸、順天堂まで人が流れていない。今後、議員から執行部につなげてほしい。
<input type="checkbox"/> 佐倉新町には江戸勝りの言葉が残っている。新町をどうするか。
<input type="checkbox"/> 企業への支援の具体的な施策として助成金だけでなく、中小企業診断士などを派遣する「出前相談制度」など細かな営業支援を行う必要がある。
<input type="checkbox"/> スマートシティ構想が全国で実証実験中。エネルギーI Tにより実施している柏の葉キャンパスなど。過去の佐倉の歴史にこだわらず先のことを考え検討を要望する。

《意見・質問》

市民意見（質問）	議員意見（答弁）
<input type="checkbox"/> 市庁舎の耐震の問題について。	■ これから検討する。
<input type="checkbox"/> 都市用水の確保について。防災の観点から暫定井を継続利用すべきではないか。	■ 現在の 32 井のうち八ツ場ダムができれば 28 井を止めることになっている。
<input type="checkbox"/> 長時間停電や放射能の汚染などの人的災害について。危機管理が重要である。	■ 国の防災計画、市の地域防災計画が策定されていて、現在見直しが行われている。
<input type="checkbox"/> I T 情報のデータのバックアップなどは。	■ 市で対応している。また、耐震対策として、安全な場所へ移転予定。
<input type="checkbox"/> 要支援者対策について、どこまでできているのか。	■ 重要な問題だが、プライバシーの問題もあり結論は出ていない。
<input type="checkbox"/> 放射能汚染について。原発事故後、側溝内清掃をしていないが、今後の対応は。	■ 除染したものの仮置き場がない。現在検討中。
<input type="checkbox"/> 被災地の震災廃棄物の受け入れを検討すべき。	■ 佐倉市も被災地であり、震災廃棄物は最終処分場に仮置きしている状況である。

《要望等》

<input type="checkbox"/> 市庁舎を建て替える場合は、市民意見を聞いてほしい。
<input type="checkbox"/> 震災時、水道工事等、地元業者の活用が必要。
<input type="checkbox"/> 自主防災組織は道具を持っていない。自主防災組織の活用、推進が重要。
<input type="checkbox"/> 災害コーディネーターの活用を。
<input type="checkbox"/> 災害時の人材確保は課題。正規職員の確保をお願いしたい。

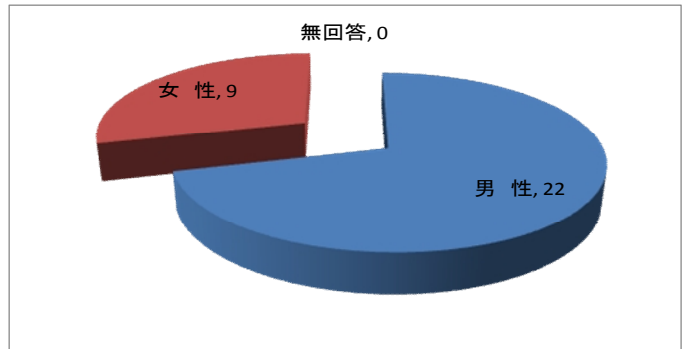
Ⅲ. 『議会報告会・意見交換会に関するアンケート』集計結果

[回答者 31 名、回答率 59.6%]

1. あなたのことについてお聞きします。

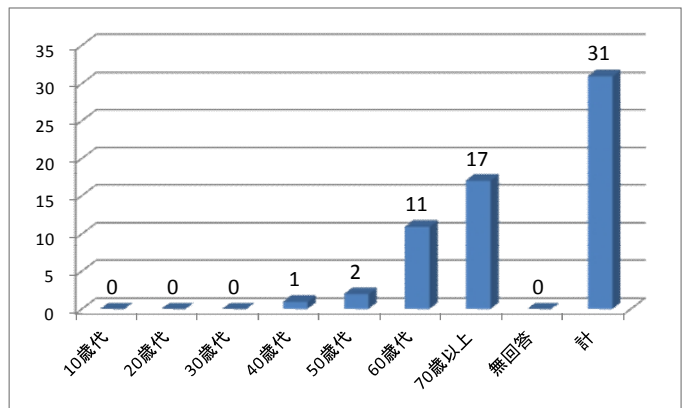
(1) 性別

男	性	22
女	性	9
無	回	0
合	計	31



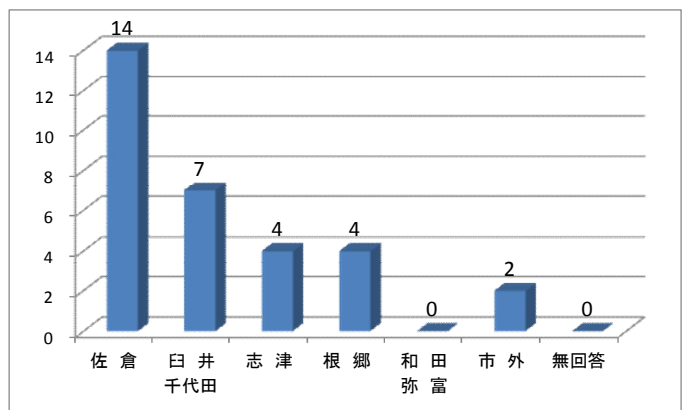
(2) 年齢

10歳代	0	
20歳代	0	
30歳代	0	
40歳代	1	
50歳代	2	
60歳代	11	
70歳以上	17	
無	回	0
合	計	31



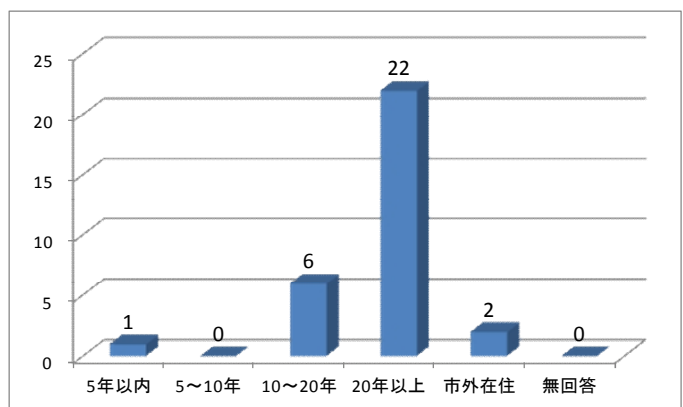
(3) 住所

佐倉地区	14	
臼井・千代田地区	7	
志津地区	4	
根郷地区	4	
和田・弥富地区	0	
佐倉市外	2	
無	回	0
合	計	31



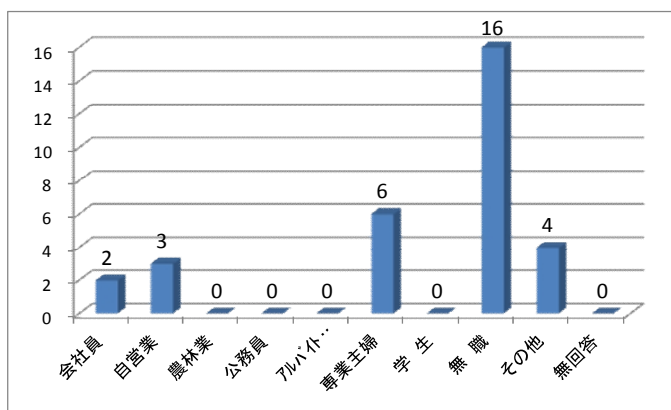
(4) 今の住所にお住まいになって、どのくらいの年数になりましたか

5年以内	1	
5～10年	0	
10～20年	6	
20年以上	22	
市外在住	2	
無	回	0
合	計	31



(5) 職 業

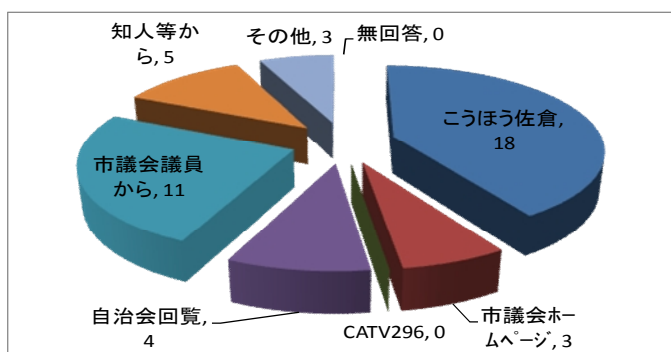
会 社 員	2
自 営 業	3
農 林 業	0
公 務 員	0
ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	0
専 業 主 婦	6
学 生	0
無 職	16
そ の 他	4
無 回 答	0
合 計	31



2. 本日の開催内容についてお聞きします。

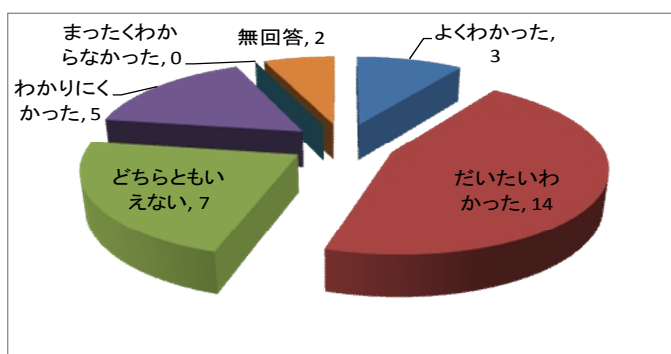
(1) 議会報告会・意見交換会の開催を何で知りましたか。(複数回答可)

こうほう佐倉	18
市議会ホームページ	3
CATV296	0
自治会回覧	4
市議会議員から	11
知人等から	5
その他	3
無回答	0
合計	44



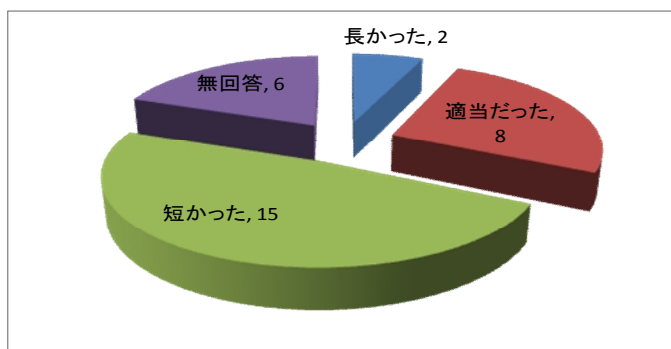
(2) 配布資料はわかりやすかったですか。

よくわかった	3
だいたいわかった	14
どちらともいえない	7
わかりにくかった	5
まったくわからなかった	0
無回答	2
合計	31



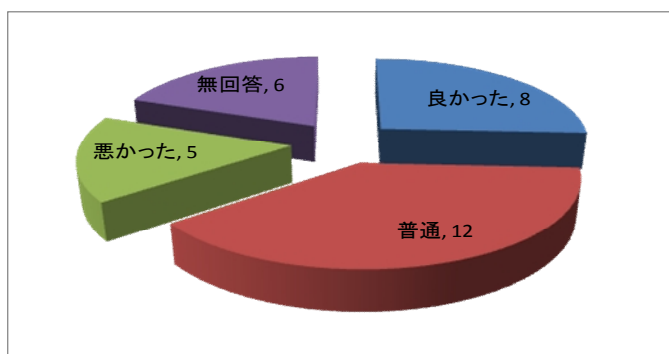
(3) 会議の時間は適当でしたか。

長かった	2
適当だった	8
短かった	15
無回答	6
合計	31



(4) 参加した感想についてお聞かせください。

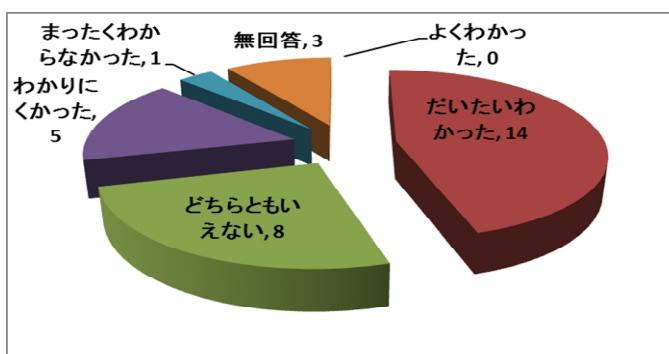
良 か っ た	8
普 通	12
悪 か っ た	5
無 回 答	6
合 計	31



3. 議会報告会についてお聞きします。

(1) 報告はわかりやすかったですか。

よくわかった	0
だいたいわかった	14
どちらともいえない	8
わかりにくかった	5
まったくわからなかった	1
無 回 答	3
合 計	31



(2) 議会報告会についてご意見がございましたら、お書きください。

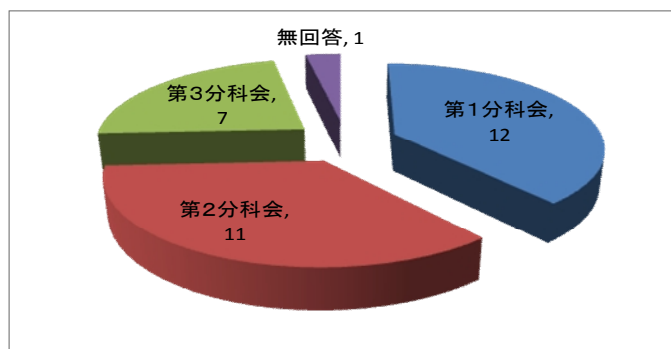
- 意見をほとんど言えない。時間が少ない。(ほか10名)
- 議会内容は議会だよりで報告されるので、市民の要望を幅広く聞く時間を多く持つべき。(ほか4名)
- 一般参加者の意見を聞きたくない印象を受けた。(ほか1名)
- 原稿を読む発表の仕方は研究してほしい。(ほか1名)
- 市民の話聞く機会をもう少し多くしてほしい。
- 議員も市民の生活をよく見てほしい。
- 議会報告の資料不足でわかりにくく、何が問題かも要点もわからない。
- 問題にまじめに答えていない。
- 段取りが悪い。もっと段取りよくし時間を短く中身を充実させるべき。
- 委員長報告は議案の内容説明が不足していて理解しにくい。補足する資料を用意していただきたい。
- 議会傍聴をしているので理解できたが、そうでなければ全くわからなかったと思う。
- 議会改革推進委員会の報告は(内容が明確なためか)わかりやすかった。
- 年1回では十分な討議ができない。議会ごと開催すべき。
- 委員長報告は意味がない。
- 議会改革推進委員会について「ただ今検討中・・・」とは独自改革案なしと見た。

- 議員は市民の代表とは名ばかり、こんなに意識が離れているかびっくりした。
議員は本来市民の立場に立ち、市民の意見要望にもっと真剣に目を向けるべき。
- 要点のみでよい。
- 議員からの的確な答弁がなかった。
- 去年の報告会よりは説明がわかりやすかった。
- まずまとめをしていただきたい。

4. 意見交換会についてお聞きします。

(1) どちらの分科会に参加されましたか。

第1分科会	12
第2分科会	11
第3分科会	7
無回答	1
合計	31



(2) 次回の意見交換会で取り上げてほしいテーマがございましたら、お書きください。

- 老人の生活
- 医療
- 介護
- 合議体としての議会の役割
- 議員同士の議論が必要
- 市民から信頼される議会
- 少子化対策
- 雇用
- 高齢者の就業対策
- 介護保険料（ポイント制）
- 議会のあり方
- 議員としての資質
- 議会主体の事業仕分け
- 議員間の討論、政策立案を実施
- 会議の公開、公聴会制度、参考人制度などの多くの市民参加に資する課題
- 地域の活性と産業振興
- 環境問題（社会環境も）
- 予算・決算審査
- 地域の特性を生かした佐倉市の発展策

(3) 意見交換会についてご意見がございましたら、お書きください。

〔第1分科会〕

- 市民の積極的な提案がありよかった。(ほか1名)
- よい意見が出たが議員側との会話がいないのが残念。もう少し時間を取る必要がある。タスクフォース(一時的に設置される組織)で市民と議会をつくる必要がある。
- 言いたいことが言えてよかった。
- 議員側は、抽象的だったので、議論が深まらない。個人的であっても日頃の問題意識を提起して市民との意見交換をしたらいい。
- 年代的に上の人が多いので、意見交換も偏りが出るので、もっと若い人に参加してもらえるようにしてほしい。
- だいたいよかったが、一方通行的な話し合いになり、もう少し討論ができればよかった。
- どうもありがとうございました。

〔第2分科会〕

- 市民の持つ多様な力、顔、資金を活用する議会の度量に期待したい。
- 市民参加のルールづくりを早急に行うことが佐倉市の再建の早道だ。
- 交換会とは名ばかり。市民の声を聞く会に切り替えるべき。
- 市民の声を聞いたら、少しは実現できるように予算の面から考えるべき。
- 年に1回の交換会ではなく、複数回計画してほしい。もっと発言できる機会がほしい。
- 大変有意義です。1年に1回と言わず、できるだけ多く開催し、時間ももう少しほしい。
- 短くすべき。
- 落ち着いた意見交換ができた。
- 発言者が議員に意見も求めるのではなく、市民の建設的に意見を交わさないと無駄な時間を過ごすことになる。
- 議員に専門性が乏しいので専門家を交えた研究会などをつくり、産業振興について研究し市民と意見交換をしてほしい。

〔第3分科会〕

- 一部筋違いの意見が多く不愉快だった。
- 第3分科会は有意義だった。市民の意見を議会として市政に反映してほしい。
- 準備大変だったと思います。おつかれさまでした。なぜ座長一人だけが話していたのか。
- 最後に出席議員全員が挨拶をされましたが、代表が締めて十分と思う。
- 資料も必要だが、むしろ質問時間を長くしたら。
- 大変有意義な交換会でした。

会議風景



山口議長あいさつ



川名部決算審査特別委員長



清宮総務常任委員長・議会改革推進委員長



中村文教福祉常任委員長



押尾経済環境常任委員長

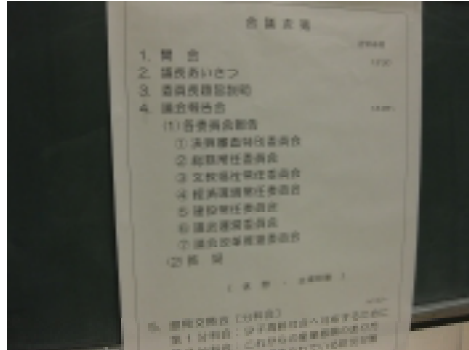


桐生建設常任委員長



望月議会運営委員長

会議風景



第1分科会
『少子高齢社会へ対応するために』



第2分科会
『これからの産業振興のあり方』

第3分科会
『いま求められている防災対策』



佐倉市議会

第2回 議会報告会・意見交換会 報告書

平成25年3月発行

発行者；佐倉市議会

編集；広報公聴委員会

委員長 桐生政広 副委員長 柏木恵子

委員 和田恵子 ・ 高木大輔 ・ 爲田 浩

久野妙子 ・ 石渡康郎 ・ 松原 章

伊藤壽子 ・ 村田穰史